

文化財の保存、活用についてです。

大生院の正法寺の遺跡から、奈良時代から平安時代に作られたとされる泥塔が多数出土しており、全国的にも非常に価値の高いものとされており、泥で小さな塔を作り、焼き固めた仏教遺物で、高さ数センチメートルから十数センチメートルほど、病気の供養や災厄よけ、長寿祈願、死者の供養、功德を積むなどの目的で奉納されていたと考えられています。ぜひ多くの市民の皆様に見ていただきたいです。

このような郷土の文化財を保存、展示しているのが、文化センター内にあるふるさとラボです。このふるさとラボの紹介リーフレットには、見て、触れて、学ぶとありますが、現在、現状では施設は常時開館しておらず、事前予約が必要で、市民が気軽に利用できる状況とは言えません。西条や今治、四国中央市など、近隣の自治体では、職員が常駐し、郷土美術館、博物館等を常時公開し、市民が自由に見学できるようにしている例もあります。文化財は、保存だけでなく、活用してこそ価値が生きるものです。市民や子供たちが、日常的に地域の歴史に触れられる環境を整えるべきではないでしょうか。

そこで、お聞きします。

市民や子供たちが、日常的に地域の歴史に触れられることの意義、これをどうお考えでしょうか。

また、ふるさとラボの今後について、再開や移設も含め、どのように検討していかれるのでしょうか。あかがねミュージアム、広瀬歴史記念館、図書館、別子銅山記念館などの活用は検討されましたでしょうか。

さらに、文化センターの建て替えも見据えた中期的な見通しについてもお示しください。お願いします。

○議長（藤田誠一） 答弁を求めます。守谷企画部文化スポーツ局長。

○企画部文化スポーツ局長（守谷典隆）（登壇） 文化財の保存、活用についてお答えいたします。

まず、市民や子供たちが、日常的に地域の歴史に触れられることの意義についてでございます。

文化財は、全ての市民にとって、貴重な財産であり、豊かな歴史と文化を次世代に引き継ぐためにも、保存と活用を図ることは行政の責務であると認識いたしております。

ふるさとラボにおきましては、コロナ禍以降、来館者が減少し、5類移行後も回復しないなどの状況にありましたことから、令和6年度より現行の予約制による開館といたしております。費用対効果等を鑑みますと、今後も職員を常駐させることは困難な状況でございますが、文化財の保護・活用拠点として重要な施設でございますため、来館につながる広報の充実を図るとともに、予約をいただいた際には、丁寧に対応するほか、小中学校の社会科授業に利用していただく貸出事業を引き続き実施するなど、地域の誇りとして文化財を次世代に継承できるよう、取り組んでまいります。

なお、郷土美術館移転対策検討委員会において、展示品及び館蔵品の移転先について、図書館、広瀬歴史記念館等の他施設も含めた検討を進め、平成27年12月にふるさとラボを整備し、展示することとし、その他の資料等を総合倉庫、小中学校の空き教室等へ保管することとしたものでございます。

また、中期的な見通しにつきましては、公共施設再編を行う中で協議してまいりたいと考えております。

○議長（藤田誠一） 井谷幸恵議員。

○9番（井谷幸恵）（登壇） 御答弁ありがとうございます。

ふるさとラボをもっともっとオープンにすることは、多くの市民の願いです。人口10万人以上の市で、郷土資料館が常時鍵が閉まっていて職員もいない、市民が気軽に学べない、この状況について市長はどのように認識されていますか、お聞かせください。

○議長（藤田誠一） 答弁を求めます。守谷企画部文化スポーツ局長。

○企画部文化スポーツ局長（守谷典隆）（登壇） 井谷議員さんの御質問にお答えいたします。

文化財を市民の誰もが見れない状況はどう考えるかということでございますけれども、先ほど御答弁で申し上げましたとおり、見ていただく工夫といいますか、来ていただく工夫、それに丁寧に対応するといったところと、あとはやはり議員さんの質問の中でもありましたように、子供たちに触れてもらうという部分も大事だと思います。貸出事業だけでなく、子供たちに来ていただく、野外学習じゃないですけども、そういったところで選んでいただけるように、工夫と広報に努めてまいりたいと考えております。

○議長（藤田誠一） 井谷幸恵議員。

○9番（井谷幸恵）（登壇） 御答弁ありがとうございます。

市民や子供たちが、地域の歴史に興味を持ち、ふるさとラボにもっともっとたくさんの市民が来てくれるような工夫、先ほどもありましたけれども、文化財審議委員さんの中には、ボランティアで説明に行きますよと言っている人もおりますし、展示物を数か月に一度がらっと取り替えるなどしているところもあります。本市でもぜひ工夫をしていただきたいと思います。